

## NetCommons で実現する教育向けワンストップサービス

国立情報学研究所 社会共有知研究センター長 新井紀子  
arai@nii.ac.jp

キーワード：CMS，学校ウェブサイト，校務の情報化，ASP

### 1. はじめに

NetCommons は主として公共機関をターゲットにした、Web 2.0 世代の情報共有基盤システムです。2001年から、国立情報学研究所で開発され、2005年からオープンソースとして提供されています。NetCommons には、CMS (Contents Management System) と LMS (Learning Management System) とグループウェアの機能が統合されており、これによりワンストップシステムが実現されています。現在、鳥取県教育委員会、埼玉県教育委員会、栃木県総合教育センター、長崎県総合教育センター、千葉県総合教育センター等、各地の教育センターや教育委員会、学校など約2000団体に導入され、学校ウェブサイト・緊急連絡網・メーリングリスト・バーチャル職員室・学習ポートフォリオなどさまざまな用途に用いられています。

### 2. NetCommons1.1 の利点と課題

国立情報学研究所では、2006年に文部科学省の新教育システム支援プログラム、2007年に同、先導的教育情報化推進プログラムに採択され、NetCommons1.0 および NetCommons1.1 の学校向けディストリビューションを開発し、各地の教育センター・教育委員会に提供、導入支援をしてきました。図1は高校教員30名に対して、1時間のNetCommons 操作研修を行った後に実施したアンケートの結果です。実に90%以上の教員が、NetCommons を導入することによって、(1) 学校Webサイト管理の手間が減り、(2) 更新が楽になり、(3) 保護者・教員・生徒に対してメリットがある、と答えています。また、ほかのWebサイト構築ツールに比べて、(4) 機能が充実している、と答えています。

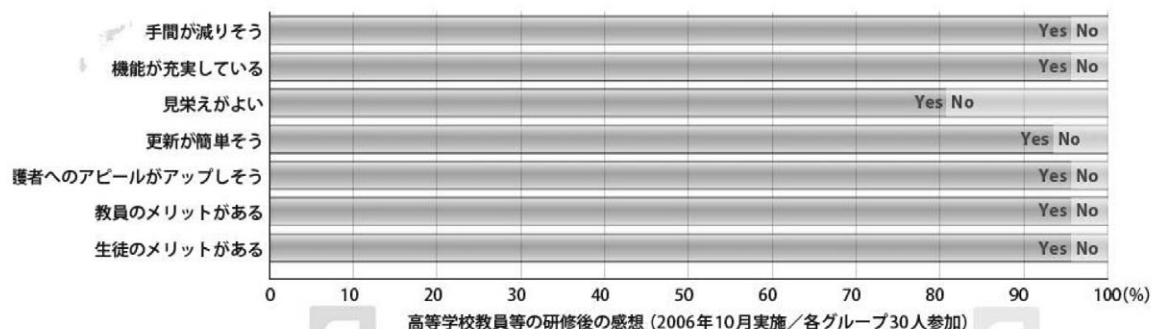


図1. NetCommons 研修会アンケート結果

総合教育センターの指導主事へのヒアリングで、NetCommons の利点として挙げられた回数が最も多かったのが、研修時間の短縮効果でした。従来のホームページ作成に関する研修会では、ホームページ作成ソフトの使い方、ftp の利用方法など、一週間に及ぶ研修を行っても、なかなかウェブサイト構築につながりませんでした。一方、NetCommons であれば、1時間の操作研修でほぼ全員が使い方をマスターすることができました。特に、wysiwyg エディタを全面的に採用した NetCommons1.1 は、ワープロソフトと使い勝手が同じであるため(右図)、研修をしなくても使い方を理解できる教員が大半であった、との回答もありました。「オープンソフトのCMSでは、モジュールごとにユーザインタフェイスが異なり、研修に時間がかかるのが難点だが、NetCommons で



